



臨港鉄道跡地整備

● ふるさとを紹介する道



岡山市では、市街地と南部の拠点である岡南地区を結ぶ延長約六キロメートルに、水と緑のネットワークづくりを進めており、「臨港鉄道跡地整備」の事業もその緑道整備の一部として進められたものである。

岡山臨港鉄道は、昭和五十九年十二月に廃止となり、この整備事業はその鉄道跡地を利用してのことから、駅のホームをそのまま利用するなど、鉄道運行当時を偲ばせる工夫を行っている。

また、花木の植栽、ベンチ・壁泉・パーゴラ・トイレなどの設置を行い、やすらぎとうるおいのある緑空間を創出して多くの市民に利用されている。

DATA・BOARD 23

- ①岡山県岡山市大元駅前～新保
- ②延長：2,000m、幅員：13m（代表部分）
- ③ベンチ、壁泉、パーゴラ、トイレほか
- ④植栽、小砂利、インターロッキングブロック、磁器質タイルほか

